

同時発表：
筑波研究学園都市記者会（資料配布）
文部科学記者会（資料配布）
科学記者会（資料配布）



平成23年度 GREENオープンラボ研究公募 第二次募集 —被災地の研究者支援強化のお知らせ—

平成23年4月27日
独立行政法人物質・材料研究機構

独立行政法人物質・材料研究機構（理事長：潮田資勝、以下NIMS）、ナノ材料科学環境拠点(GREEN)は、環境エネルギー問題の解決につながる材料開発研究の加速・強化を目的として、当拠点が取り組む研究課題の解決に結びつくアイデアを持ち、NIMSに短期間滞在して研究を行う研究者を広く募集しています。

第二次募集では、この度の東日本大震災により、研究の継続が困難となった被災地の研究者の方を優先的に採択するとともに、その採否については応募申込後1週間以内に決定します。

採択された方には、NIMSまでの交通費、宿泊費および日当を支給します。また研究上必要な消耗品等は当拠点が一部負担します。研究期間は、一件につき2年を限度とし、この期間内に複数回（各回1週間程度）または1回（最長1か月程度）の滞在を想定しています。新しく確かな材料情報に直に触れながら、NIMSの有する豊富な人材と先端設備を使って研究を継続していただくことを期待します。

ナノ材料科学環境拠点（GREEN：Global Research Center for Environment and Energy based on Nanomaterials Science）は、NIMSが中核となって、グリーンイノベーションを目指したナノテクノロジー材料研究を推進するための文部科学省委託事業を行うものです。国内外の一流研究者を結集する体制を築き、中長期的な産業・社会ニーズを取り込み、基礎に立ち返って新しいシーズの提供を目指しています。平成21年10月の活動開始より、環境エネルギー問題を解決するため、太陽光から出発するエネルギーフローに関する太陽電池、光触媒、二次電池、燃料電池をターゲットに据え、表面・界面の理論分析と先端的計測技術を融合させることで新しい材料の創出を目指して研究活動を行っております。

2年目を迎えたオープンラボ事業も、さらなる異分野融合と人材結集の一環として募集を強化しています。当拠点ホームページでは、オープンラボ研究公募の詳しい情報や申請書類などを掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

【物質・材料研究機構オープンラボ研究公募情報】

<http://www.nims.go.jp/GREEN/01news/job-vacancies/CFP/002.html>

【公募期間】

第二次募集 募集中 ～ 6月1日（水）

問い合わせ先：

【研究公募に関すること】

独立行政法人物質・材料研究機構
ナノ材料科学環境拠点 運営総括室
久保 佳実（くぼ よしみ）
TEL:029-859-2186
E-mail GREEN@nims.go.jp

【報道担当】

独立行政法人物質・材料研究機構
企画部門 広報室
TEL:029-859-2026
FAX:029-859-2017